



ホンダ フィット フィット ハイブリッド

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0382/0383/0384/0386/0387

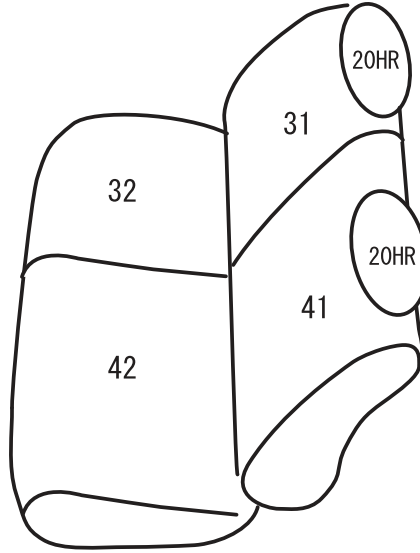
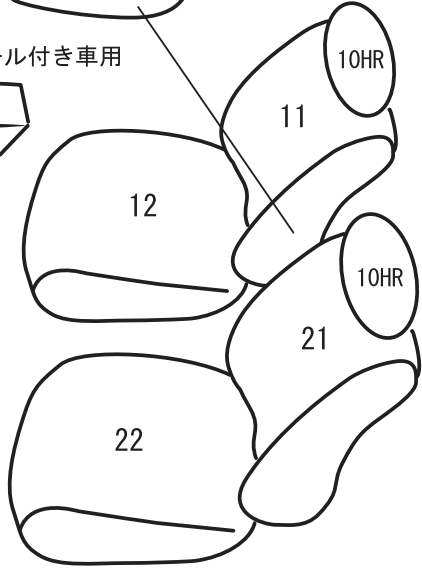
0382 - 0383

※運転席AR付き車用

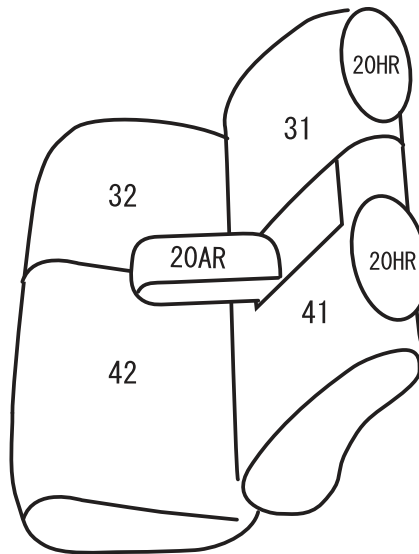
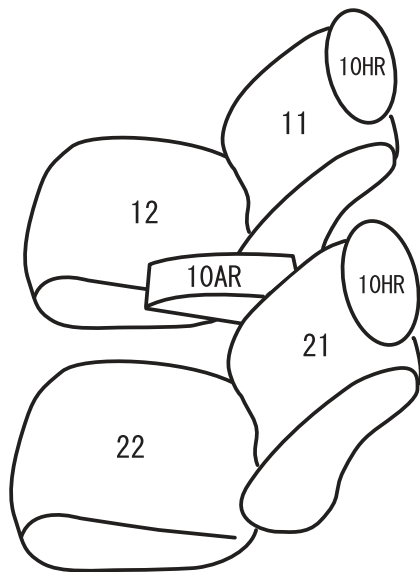
10AR

※センターコンソール付き車用

10AR



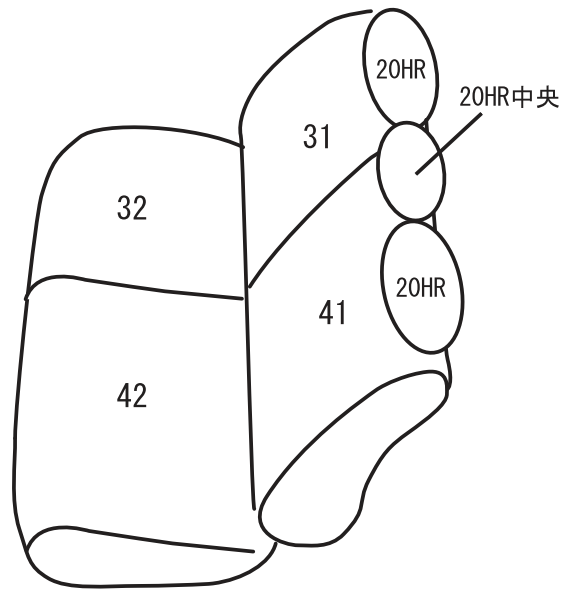
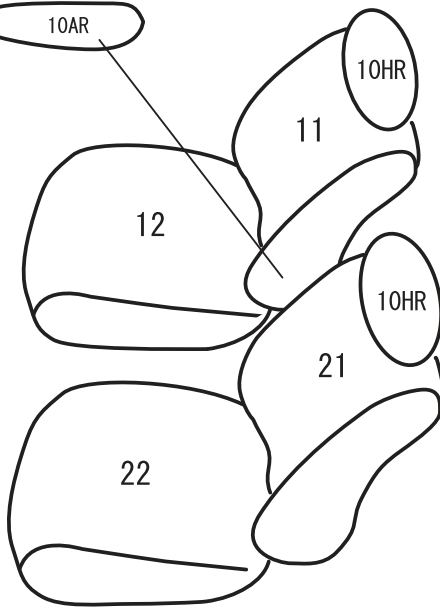
0384



0386

※運転席AR付き車用

10AR



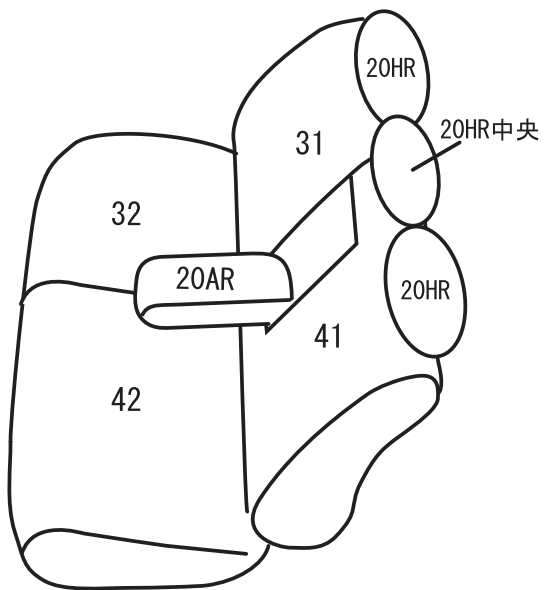
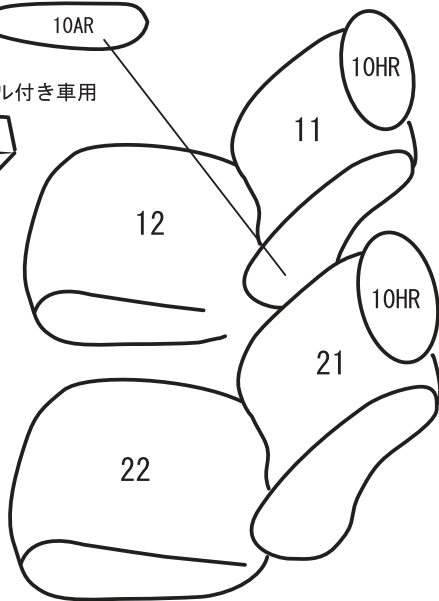
0387

※運転席AR付き車用

10AR

※センターコンソール付き車用

10AR



シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかりと入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



① カバーを裏返した状態でシートに合わせます。



④ 図の○部の生地は、シートを包み込むように生地を入れ込みます。



② シートのラインに合わせてながら、カバーをかぶせます。



⑤ 背もたれと座面の間に生地を入れ込みます。



③ 側面の生地をシートのプラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑥ 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



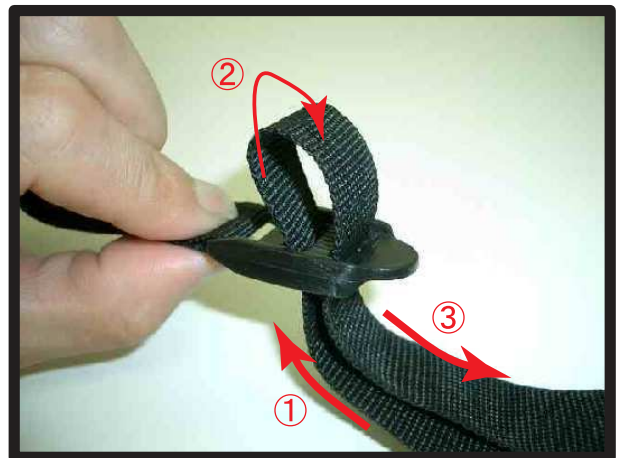
⑦引き出した生地は、座面にマジックテープで直接固定します。



⑩1ページ⑥で引き出した生地についているバックルに、ベルトを通します。



⑧シートヒーターやサイドエアバッグ付き車の場合は、図のように配線がかわすようにカバーを取り付けます。



⑪ベルトは、図の①～③の順にバックルに通し、引っ張る事で前後に締まり、カバーが固定されます。



⑨カバー前側に付いているベルトは、図の2本の金属バーの上へ通して、座面裏側へ引き出します。



⑫カバーのラインを整え、1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ

※運転席アームレスト装着車は、カバーに穴あけ加工が必要になります。



①カバーを半分ほど裏返し、背もたれにかぶせていきます。この際、肩口までしっかりかぶせて下さい。



④13ページを参照し、アームレストを取り外します。次に、カバーをかぶせた状態でアームレスト取り付け部の突起のある箇所印をつけます。(2ヶ所)



②カバーをかぶせた状態です。この状態では、まだ背もたれ両端がきれいに収まっていません。



⑤④で付けた印を線で結ぶように、カッターなどで切り目を入れます。※カバーを切る際に、シート本体を傷つけないよう注意して下さい。



③図の①～③の順にカバーをシートに馴染ませるように整えていきます。



⑥⑤で入れた切り目を元に、はさみなどで、図のように少し大きめにカバーを切ります。※カバーを切り過ぎないように注意して下さい。



⑦ヘッドレスト台座部分をカバーの穴部から取り出します。
生地伸びを利用し、横からもぐりこませるように取り出して下さい。



⑩⑨で入れ込んだ生地を背もたれ後ろ側から引き出します。



⑧ヘッドレスト台座部分を取り出すとこのようになります。
ヘッドレスト調整用のボタンのある側から取り出すと作業がしやすくなります。



⑪引き出した生地は、背もたれ後ろ側でマジックテープで固定します。



⑨背もたれと座面の間に生地を入れ込みます。



⑫シートのラインを整え、1列目運転席側背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面



⑬シートヒーターやサイドエアバッグ付き車の場合は、図のように配線をかかわすようにカバーを取り付けます。



①はじめに、シートベルトを固定しているゴムバンドを取り外します。



⑭カバー背面に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。



②座面前側からカバーをかぶせていきます。



⑮S字フックを座面下の適当な場所に固定し、1列目背もたれの完成です。



③カバーの穴部には、図のように①で取り外したゴムバンドを通しておきます。



④背もたれと座面の間に生地を入れ込みます。



⑦底面のカバーを正しく取り付けると、このようになります。



⑤座面を跳ね上げ、底面のラインにカバーを合わせます。



⑧跳ね上げた座面を元に戻し、シートのラインを整え、2列目運転席側座面の完成です。※シートベルトは、まだ戻さないで下さい。助手席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。



⑥④で入れ込んだ生地をマジックテープでシートに直接固定します。この際、底面のカバー左右にあるマジックテープの付いた生地も一緒に固定します。

2列目背もたれ

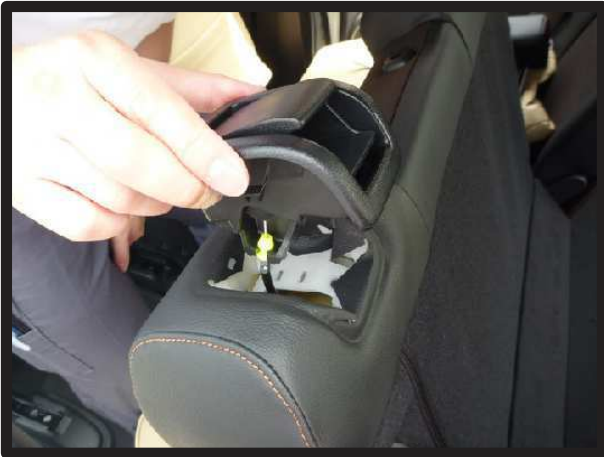
※図は中央席ヘッドレスト付き車の助手席側を使用しています



①初めに、背もたれ肩口のレバーを外します。レバーを上げた状態で、中にあるネジを+ドライバーを使用し外します。



④カバーを半分ほど裏返した状態で、背もたれにかぶせます。



②ネジを外すと図のようにレバー部分が取り外せます。この状態で、背もたれにカバーをかぶせていきます。



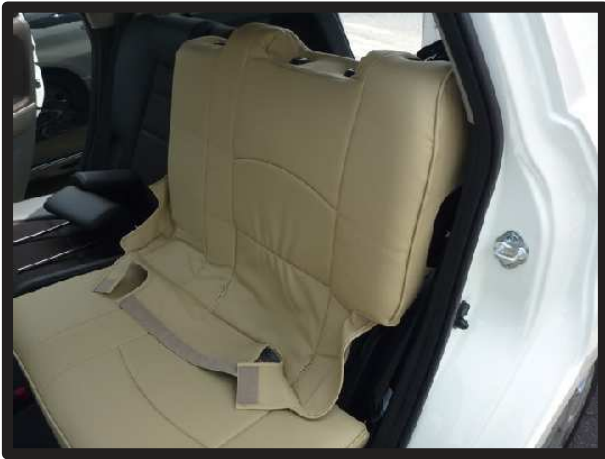
⑤カバーの加工穴から②で外したレバー部分を取り出します。



③背もたれカバーのファスナーを開いておきます。



⑥カバーを引き下げていきます。外側面のヒンジ部は、カバーの加工穴の位置にくるようにして下さい。



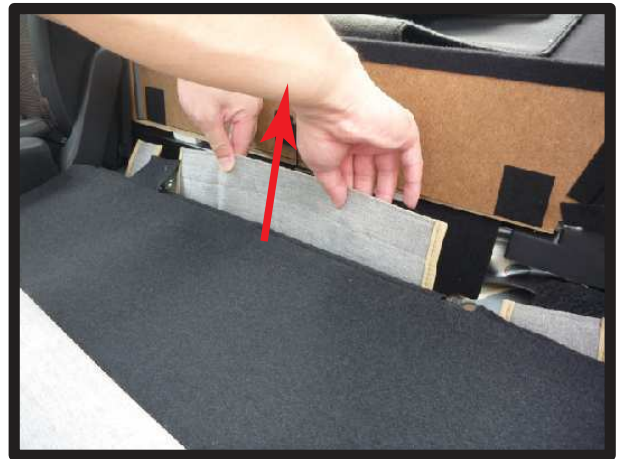
⑦カバーをかぶせ、1列目と同様に、ヘッドレストの台座部分を取り出します。



⑩背もたれを前側に倒した状態で、背もたれ背面にあるプレートを矢印の方向へめくります。



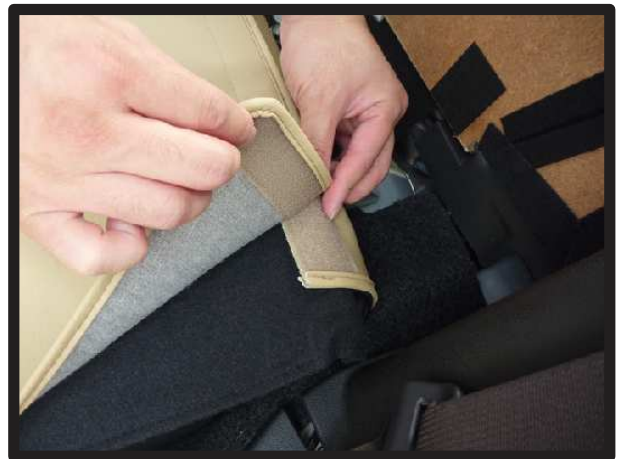
⑧カバー内側面のファスナーを閉じます。生地を内側に寄せながら、慎重に閉じるようにして下さい。



⑪⑨で入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



⑨座面を跳ね上げ、背もたれ下側の生地を後ろ側へ入れ込みます。



⑫引き出した生地と、背もたれ後ろ側の生地をマジックテープで固定します。



⑬7ページ②で外したレバー部分を、外した逆の手順で元に戻します。



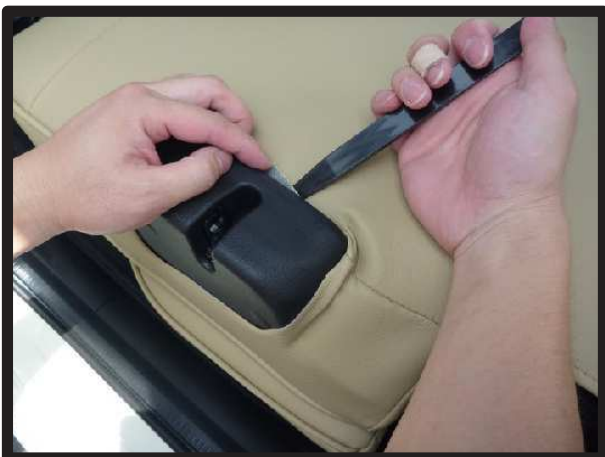
⑯ヒンジ部は、図のようになります。



⑭背もたれ肩口のレバー部分は、図のようになります。



⑰背もたれ側面下部に生地を入れ込みます。



⑮背もたれ外側面のヒンジ部の隙間にヘラ等を使用し、生地を入れ込みます。隙間の狭い場所は、ヒンジ部の隙間を広げるようにヘラを使うと、生地が入れ込みやすくなります。



⑱5ページ①で外したシートベルトを戻し、カバーのラインを整え、2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

2列目背もたれ(アームレスト付き車)

※図は中央席ヘッドレスト無し車の助手席側を使用しています



①7ページ①・②を参考に、背もたれ肩口のレバーを外し、背もたれにカバーをかぶせていきます。肩口をしっかりと入れ込んで下さい。



④アームレストの隙間に生地を入れ込みます。



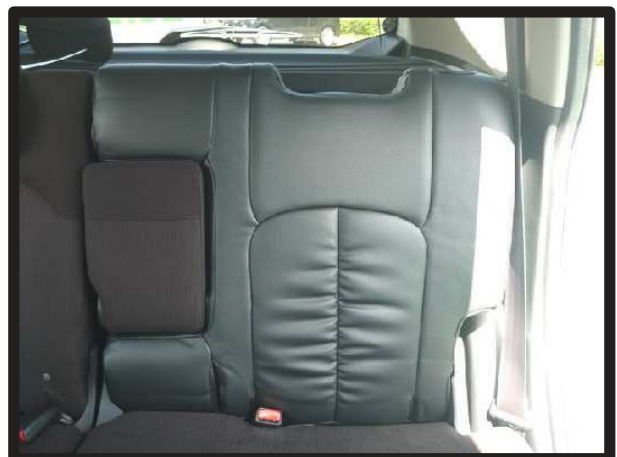
②カバーの加工部から、アームレストを取り出します。



⑤入れ込んだ生地を引き出し、マジックテープで固定します。



③背もたれのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑥7ページ⑤から9ページ⑱を参考にカバーを固定し、2列目助手席側背もたれ(アームレスト付き車)の完成です。運転席側も一部形状が異なりますが同様に取り付けます。

2列目アームレスト



①カバーの前後を確認し、アームレストにかぶせます。カギ状のプラスチック部品が付いている方が、前側になります。カバーは先端までしっかり入れ込んで下さい。



④14ページ②を参考に、カバーを固定します。



②アームレストの隙間に生地を入れ込みます。



⑤2列目アームレストの完成です。



③入れ込んだ生地を図のように引き出します。

センターコンソール

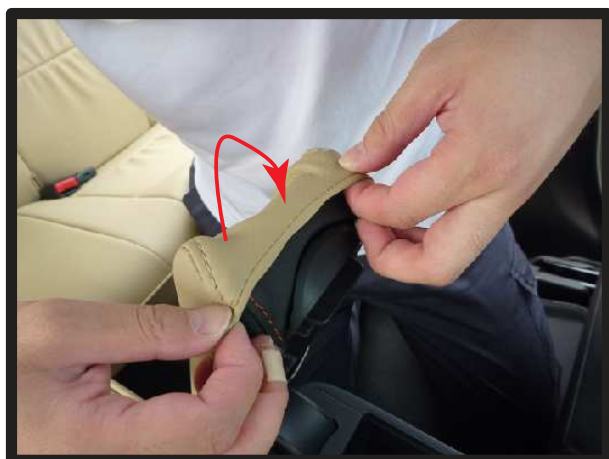
※センターコンソールボックス有り車用



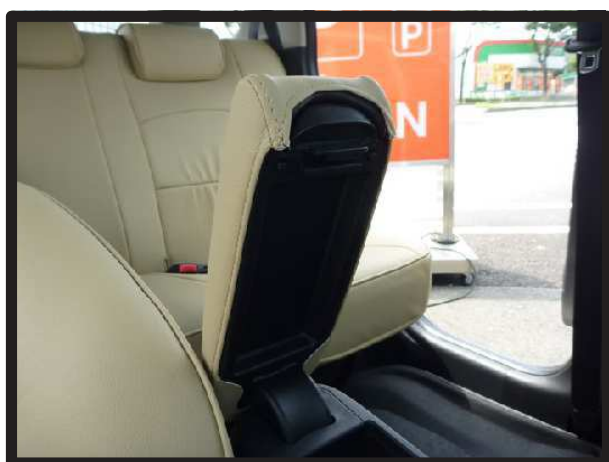
①コンソールボックスのフタを開け、カバーを後ろ側に引っ掛けるようにかぶせます。



④カバーのラインを整え、アームレストの完成です。



②カバーの伸びを利用して、前側にかぶせます。



③正しくカバーをかぶせると、図のようになります。

アームレスト

※運転席アームレスト有り車用



①ヘラなどを使用し、アームレストに付いているキャップを外します。



④アームレストを外した逆の手順で、元に戻します。



②ソケットレンチなどを使用し、アームレストを固定しているボルトを外します。



⑤アームレスト後部にあるファスナーを閉じます。



③取り外したアームレストにカバーをかぶせます。
カバーは半分ほど裏返しておく
と、かぶせやすくなります。



⑥アームレストのラインを整え、完成です。

ヘッドレスト



①カバーの前後を確認し、半分ほど裏返した状態で、ヘッドレストにかぶせます。カバーを左右均等に引き下げていきます。



④ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



②ヘッドレストを取り外し、プラフックで固定します。図のように平らな形状の方を、生地ごと巻き込みながら、カギ状の方に差し込み固定します。



⑤2列目ヘッドレストは、カバーを前側から引っ掛けるようにかぶせていきます。ヘッドレストを取り外し、1列目と同様に固定します。



③プラフックを正しく固定すると、図のようになります。



⑥ヘッドレストを台座に戻し、カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。

2列目中央ヘッドレスト有り車の場合も同様に取り付けます。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



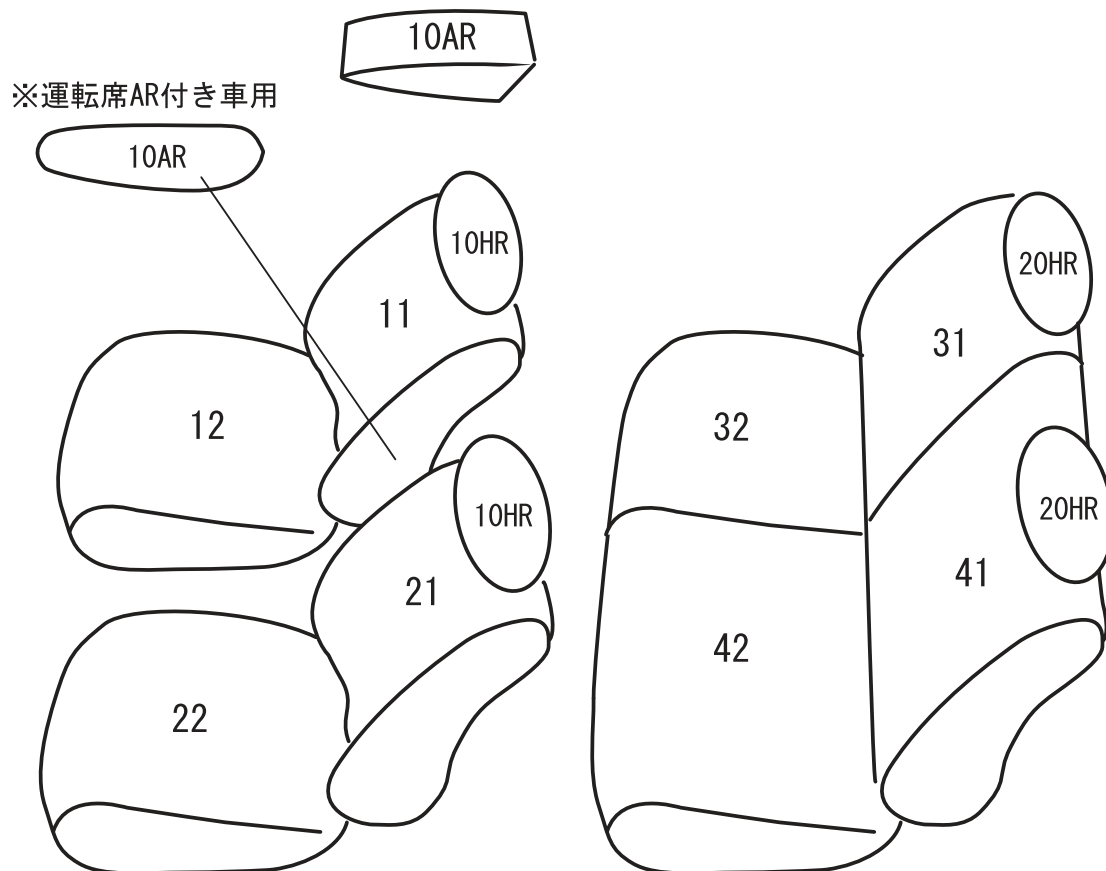
PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



本製品シート形状とパーツの名称

※センターコンソール付き車用



取付必要工具

工具名

- ① ソケットレンチセット
(運転席アームレスト付き車)
- ② +ドライバー
- ③ ヘラ (付属)

